

令和4年度（2022年度）

管理事業名	生活衛生事業			総合計画 の体系	大綱 5 環境		
					政策 1 環境先進都市のまちづくり		
					施策 3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 16	生活衛生費
部局名	健康医療部	予算執行 所属	衛生管理課				
事業の目的と概要 【目的】食品等事業者、生活衛生関係営業施設、専用水道等施設の衛生管理に係る指導・助言を行うことで、市民が安全で健康な生活を確保することを目的としている。 【概要】生活衛生事業は、食品衛生、環境衛生に関する事業 食品衛生は、飲食店などの営業許可、立入検査による衛生管理指導、食品安全対策・食品衛生教育活動を行う。 環境衛生は、理・美容所、クリーニング所、旅館、公衆浴場、専用水道など確認・許可、立入検査による衛生管理指導を行う。							

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
衛生検査実施件数	件	184	243	525	食品・環境衛生検査件数
施設への立入件数	件	1,321	1379	1,615	食品・環境衛生施設への立入件数

II 活動実績・成果

<p>【指標1】衛生検査実施件数 ・実施件数525件（内訳：食品衛生432件 環境衛生93件） 前年度比282件増（内訳：食品衛生252件 環境衛生30件） 令和2年、3年度は新型コロナウイルス感染症に係る対応で業務を縮小していたが行動制限が緩和されたことにより、通常業務に徐々に近づいたことで件数が増加した。 食品衛生・環境衛生施設に係る衛生検査の実施により、開設者等に対し食品衛生・環境衛生に係る知識の普及に努めている。</p> <p>【指標2】施設への立入件数 ・実施件数1,615件（内訳：食品衛生1,435件 環境衛生180件） 前年度比236件増（内訳：食品衛生171件 環境衛生65件） 新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、飲食店等の生活衛生関連事業者も通常営業に戻ったことで立入件数が増加した。 また、各施設への立入検査において不適事項がある施設への指導・助言により、施設の適正な衛生管理の確保に努めている。</p>	
---	--

III 課題と今後の取組

<p>令和2年度から新型コロナウイルス感染症に係る対応で立入検査等の業務の縮小が余儀なくされていたが、令和4年度は営業施設に係る衛生検査の件数も増加することができた。今後も食中毒や感染症等の事案を未然防止することを目的に、食品衛生・環境衛生に係る衛生管理指導を行い、継続して衛生検査等に係る検査が必要と考える。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、人流が活発になることで、食中毒や感染症等の事案の増加が予想され、緊急に検査に係る費用の確保が必要と考える。</p>	
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位:千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,824	7,974	2,150
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	5,824	7,974	2,150
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	61,667	71,971	10,304
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	61,667	71,971	10,304
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	67,491	79,946	12,455
建物・工作物	-	-	-	純資産	△67,491	△79,946	△12,455
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	△67,491	△79,946	△12,455
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-

◆行政コスト計算書【PL】

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	13,157	12,661	11,129	△1,532
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	303	199	417	218
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	6	7	22	15
経常収入 小計(a)	13,465	12,867	11,569	△1,298
給与関係費	65,666	90,676	97,057	6,381
物件費	8,730	8,192	13,226	5,034
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	46	108	133	25
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,700	5,824	7,974	2,150
退職手当引当金繰入額	49,308	21,979	16,678	△5,301
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	128,450	126,779	135,068	8,289
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△114,985	△113,912	△123,499	△9,588
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△114,985	△113,912	△123,499	△9,588
一般財源充当額	65,397	96,009	111,045	15,036
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△49,589	△17,903	△12,455	5,448

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位:千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	13,465	12,867	11,569	△1,298
行政サービス活動支出	78,862	108,876	122,614	13,738
行政サービス活動収支差額	△65,397	△96,009	△111,045	△15,036
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△65,397	△96,009	△111,045	△15,036
一般財源充当額	65,397	96,009	111,045	15,036
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【PL】 使用料及び手数料	食品営業許可・開設等に係る手数料 申請件数の減少による減
【PL】 物件費	食品・環境検査手数料 検査件数の増加による増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民一人当たりのコスト	341円	335円	354円
実績	376,944人	378,781人	381,238人
コスト	円	円	円
実績			

分析内容 令和5年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民1人あたり354円のコストがかかっている。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	114,836	1,908	12.36
会計年度任用等	6,874		
特別職非常勤	-		
合計	121,710		

分析指標

	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
分析指標					
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		10.2	10.0	8.2	△ 1.8
一般財源充当比率		82.9	88.2	90.6	2.4